



社会福祉法人
肝付町社会福祉協議会
肝付町ボランティアセンター

望 縁 郷

vol.37
2020

編集発行：肝付町社会福祉協議会 【やぶさめの里総合公園福祉会館内】
TEL：0994-68-8188 FAX：0994-68-8187
<http://www5.synapse.ne.jp/kt-syakyou/>



令和元年 12 月 7 日、内之浦銀河アリーナで肝付町社会福祉大会が開催されました。金婚・福祉表彰がおこなわれ、演劇やスマートエネルギー講演など様々な催しがおこなわれました⇒2 ページに関連記事

◆記事内容◆

- 肝付町社会福祉大会・・・・・・・・・・・・・ 2
- いっぺこっぺ交流会・・・・・・・・・・・・・ 3
- 平成 30 年度決算報告・・・・・・・・・・・・・ 4～5
- 共同募金委員会から・・・・・・・・・・・・・ 6
- 学生ボランティア体験・・・・・・・・・・・・・ 7
- 「災害義援金」へのご協力について・・・・・・・・・・・・・ 8

望縁郷(ぼうえんきょう)の願い！

望んでいます。地域の温かいつながり(縁)で、誰もが安心して暮らせる肝付町(郷)であることを！

ボランティアや福祉活動を、気軽に楽しく(エンジョイ)、今日(キョウ)から始めて頂きたいと願っています！

この「望縁郷」が故郷肝付町と町外の肝付町出身の方との望遠鏡(ぼうえんきょう)になればと願っています！

この情報誌は、共同募金の助成を受けて発行されています。

いあいさつ

肝付町社会福祉協議会

会長 松元 一昭

明けましておめでとうございます。私、

このたび、令和元年六月十八日におこなわれました当会理事会の選任を受け肝付町社会福祉協議会会長に就任いたしました。

十年間会長の職務を全うしご勇退された酒匂學前会長の後任として、誠心誠意職務に当たりたいと存じますので、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

さて、社会福祉協議会の事業につきましては、中核である地域福祉推進事業や赤い羽根共同募金、日本赤十字社肝付町分区分、また高齢社会において益々必要性の増している介護保険事業など多方面にわたっており、行政などの関係機関はもちろんのこと、振興会や女性会、民生委員や在宅福祉アドバイザー、さらにはボランティアの方々を支えられています。

私たち役職員一同、皆様のご協力を頂きながらこの肝付町の福祉課題に対応すべく、地域福祉の中核機関として努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻いただくとともに、当会会員である町民おひとりおひとりが『我が事丸ごと』の理念の元、支え合いの地域づくりにご参画いただければ何よりと存じます。

最後に、皆様方の益々のご健勝をご祈念申し上げ挨拶いたします。

令和元年度 社会福祉大会

令和元年12月7日、肝付町社会福祉大会が内之浦銀河アリーナで開催されました。今回は、肝付町内の介護・福祉・医療に従事しているの方々を中心に結成された『ケアニンズ〜』による劇「肝付町全員集合〜肝付町で最期まで〜」を公演していただきました。

公演「肝付町全員集合〜肝付町で最期まで〜」

劇は、一人暮らし高齢者の真太郎が、心配する地域の方々の支援や様々な介護サービスを受けることで地域で生活しながら、帰ってきた娘に住み慣れた自宅で看取られるまでを時に滑稽に演じました。幕間では、劇で出てきた福祉制度や介護サービスを解説し、劇中の主人公がデイサービスを利用する場面では、観客の方々も一緒にレクリエーションに参加し、大変盛り上がりしました。



式典では、結婚50周年を迎えられた夫婦13組への金婚表彰と、肝付町の社会福祉増進に多大な貢献をされた20名の方への福祉表彰、3名の方へのふくし・ボランティア標語表彰がおこなわれました。また、厚生労働大臣表彰など全国や県で表彰を受けられた20名1団体への伝達表彰もおこなわれました。



令和元年度 肝付町“ふくし・ボランティア標語”

広く住民のボランティア活動に対する理解と関心を高めるとともに、ボランティア活動をより身近なものとするため、町内で募集した“ふくし・ボランティア標語”について、次のとおり最優秀賞作品が決定しました。



【最優秀作品】

◆小学生の部（応募総数188作品）

『やさしさで 心つながる 人と人』

内之浦小学校 5年 小野 凛名 さん

◆中学生の部（応募総数377作品）

『ボランティア 未来につなごう みんなの和』

高山中学校 1年 右田 虹夏 さん

◆高校・一般の部（応募総数78作品）

『育てよう 絆の花と 希望の芽』

楠隼高等学校 1年 福井 月読 さん

今回の福祉大会では、肝付町が推進する環境・エネルギーへの取り組みについて、「エネルギーの地産地消ってなに」と題し、株式会社トラストバンクの上野雄介氏による講演や、電気自動車などの展示、省エネ相談所などがありました。



福祉大会会場駐車場では、肝付町赤十字奉仕団による非常時の炊出しが実演され、来場者に炊出し米が配布されました。また障がい者支援施設陵北荘、新樹学園、アリス食堂による木工品やパン、そばも大盛況でした。町内の皆様から提供いただき、ボランティアの方々のご協力でおこなった「ふくしバザー」もたくさん



さんの方々に利用していただき、23,970 円の益金をお寄せいただきました。この益金は地域福祉活動に活用させていただきます。

いっぺこっぺ交流会 in 宮富

「いっぺこっぺ交流会」は、町内でサロンやボランティア、地域活動をしている方々のともに“集う”“つながる”“まなびあう”場として肝付町地域包括支援センター、肝付町社会福祉協議会が毎年開催しています。今回は令和元年11月16日、宮富小学校体育館で開催され、子どもから高齢者まで440名が来場しました。恒例となった「かし選手権」やたくさんのサロン、ボランティア団体から活動報告がありました。



午前の「集う報告会」や午後の「ワイワイタイム」では、宮富地区の小中学生によるピアノ演奏やサロン活動、国見よかとこダンス、地域の方の踊りなどが披露されました。

昼食は、富山はつらつサロンのみなさんに作っていただいたカレーを、参加者全員で作った炊き出し米といただきました。



来場者投票の結果最優秀賞となった
『チコちゃんとキョエちゃん』

きもつき情報化センター



平成30年度決算報告

資金収支計算書

(単位：円)

事業活動による収支		
収入	会費収入	2,571,250
	寄付金収入	1,986,206
	経常経費補助金収入	17,623,030
	助成金収入	44,500
	受託金収入	25,982,739
	貸付事業収入	230,000
	事業収入	1,964,100
	負担金収入	10,041,000
	介護保険事業収入	126,695,401
	障害福祉サービス等事業収入	5,965,850
	受取利息配当金収入	9,763
	その他の収入	1,154,275
	事業活動収入計(1)	194,268,114
支出	人件費支出	165,552,767
	事業費支出	30,613,498
	事務費支出	4,424,418
	貸付事業支出	180,000
	負担金支出	20,000
	事業活動支出計(2)	200,790,683
経常活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		△ 6,522,569
施設整備等による収支		
収入	施設整備等収入計(4)	0
	固定資産取得支出及び繰入支出	309,308
支出	施設整備等支出計(5)	309,308
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		△ 309,308
その他の活動による収支		
収入	その他の活動による収入	7,107,840
	その他の活動収入計(7)	7,107,840
支出	その他の活動による支出	8,167,680
	その他の活動支出計(8)	8,167,680
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)		△ 1,059,840
予備費(10)		0
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) + (10)		△ 7,891,717
前期末支払資金残高(12)		44,176,621
当期末支払資金残高(11) + (12)		36,284,904

事業活動収支計算書

(単位：円)

サービス活動増減の部		
収益	会費収益	2,571,250
	寄付金収益	1,986,206
	経常経費補助金収益	17,623,030
	助成金収入	44,500
	受託金収益	25,982,739
	事業収益	1,964,100
	負担金収益	10,041,000
	介護保険事業収益	126,695,401
	障害福祉サービス等事業収益	5,965,850
	その他の収益	965,050
	サービス活動収益計(1)	193,839,126
費用	人件費	168,103,960
	事業費	30,613,498
	事務費	4,424,418
	負担金費用	20,000
	減価償却費	3,817,598
	徴収不能引当金繰入	△ 2,500
サービス活動費用計(2)		206,976,974
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)		△ 13,137,848
サービス活動外収支の部		
収益	受取利息配当収益	9,763
	その他のサービス活動収益	189,225
	サービス活動外収益計(4)	198,988
費用		0
	サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)		198,988
経常増減差額(7) = (3) + (6)		△ 12,938,860
特別増減の部		
収益	特別収益計(8)	0
	固定資産売却損・処分損	4
費用	特別費用計(9)	4
特別増減差額(10) = (8) - (9)		△ 4
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)		△ 12,938,864
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	35,327,734
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	22,388,870
	基本金取崩額(14)	0
	基本取崩額(15)	0
	その他の積立金取崩額(16)	0
	その他の積立金積立額(17)	0
	次期繰越活動増減差額(18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)	22,388,870

貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	金額		金額
流動資産	47,139,580	流動負債	20,685,050
預貯金	12,179,156	事業未払金	3,547,526
事業未収入金	34,960,424	賞与引当金	9,830,374
		職員預り金	6,467,353
固定資産	174,518,924	未返還金	839,797
基本財産	2,000,000	固定負債	74,638,470
基本財産特定預金	2,000,000	退職給付引当金	64,726,300
その他の固定資産	172,518,924	退職給付引当金	9,912,170
建物	4	負債の部合計	95,323,520
構築物	1	純資産の部	
器具及び備品	5,990,271	基本金	2,000,000
車両運搬具	2,125,540	基本金	2,000,000
退職手当積立基金預け金	52,253,824	その他の積立金	101,946,114
退職手当積立基金預け金	9,912,170	福祉基金積立金	4,000,000
福祉基金積立資産	4,000,000	財政調整基金積立金	81,534,404
財政調整基金積立資産	81,534,404	拠点整備等積立金	0
備品購入積立資産	13,500,000	備品購入積立金	13,500,000
福祉車輛購入積立資産	2,911,710	福祉車輛購入積立金	2,911,710
徴収不能引当金	△ 7,000		
長期貸付金	140,000	次期繰越活動増減差額	22,388,870
建設仮勘定	158,000	(うち当期活動増減差額)	△ 12,938,864
資産の部合計	221,658,504	純資産の部合計	126,334,984
		負債及び純資産の部合計	221,658,504

平成30年度財産目録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

資産・負債の内訳			資産・負債の内訳		
1. 資産の部			2. 負債の部		
流動資産			流動負債		
(1)預貯金	12,179,156		(1)事業未払金	3,547,526	
(2)事業未収入金	34,960,424		(2)賞与引当金	6,467,353	
			(3)職員預り金	9,830,374	
			(4)未返還金	839,797	
流動資産合計	47,139,580		流動負債合計	20,685,050	
固定資産			固定負債		
(1)基本財産	2,000,000		(1)退職給付引当金	64,726,300	
(2)その他の固定資産	172,518,924		(2)退職給付引当金	9,912,170	
建物	4		固定負債合計	74,638,470	
構築物	1				
車輛運搬具	2,125,540		負債合計	95,323,520	
器具及び備品	5,990,271		差引純資産	126,334,984	
退職手当積立基金預け金	52,253,824				
退職手当積立基金預け金	9,912,170				
福祉基金積立資産	4,000,000				
財政調整積立資産	81,534,404				
拠点整備等積立資産	0				
備品購入積立資産	13,500,000				
福祉車輛購入積立資産	2,911,710				
長期貸付金	140,000				
徴収不能引当金	△ 7,000				
建設仮勘定	158,000				
固定資産合計	174,518,924				
資産合計	221,658,504				

町民の皆さんからのご質問

Q. 香典返しの寄付金って何に使われていますか？

A. 地域のボランティア育成や福祉機器（子供用車椅子等）の貸与、小学校や中学校等への出前福祉教育や体験学習などの地域福祉事業に使われています。

肝付町社会福祉協議会では、これからも「みんなの参加で福祉の町づくり」をキーワードに地域福祉向上に取り組んでまいりますので、皆様方のご意見などお聞かせください。



令和元年度(平成31年度)

資金収支予算書

(単位:千円)

収入の部		支出の部			
①事業活動による収入 計	202,973	①事業活動による支出 計	215,437		
会費収入	2,650	法人運営事業	30,378	福祉サービス利用支援事業	1,586
寄付金収入	2,000	生活福祉資金貸付事業	322		
経常経費補助金収入	26,057	社会福祉大会事業	866		
助成金収入	40	在介センター事業	7,645	②施設整備等支出 計	169
受託金収入	34,384	居宅介護支援事業	34,084	③その他の活動による支出 計	8,525
貸付事業収入	450	訪問介護事業	60,191	④予備費	2,000
事業収入	1,804	訪問入浴介護事業	6,433	合計(①～④)	226,131
負担金収入	10,042	通所介護事業	31,939		
介護保険事業収入	118,874	小口貸付事業	300		
障害福祉サービス等事業収入	6,549	共同募金事業	700		
その他の収入	110	地域支援事業	443		
受取利息配当金収入	13	地域福祉事業	6,037		
②施設整備等収入 計	0	障害者総合支援事業	7,637		
③その他の活動による収入 計	1,897	寝具類等洗濯乾燥消毒事業	323		
④前期末支払資金残高 計	22,000	くらし安全ネットワーク事業	862		
合計(①～④)	226,870	地域包括支援サプセンター事業	25,691		

※社会福祉協議会の会計は、「社会福祉法人会計基準」に基づき編成されていますが、ここでは分かりやすくするため、支出の部を経理区分(各事業)ごとに掲載しております。

高山やぶさめ祭り街頭募金

肝付町共同募金委員会では、「赤い羽根共同募金」の啓発と募金協力を募るため、やぶさめ祭りの会場となった高山川河川敷で街頭募金運動をおこないました。当日は配分団体を中心としたボランティアの方々のご協力の元、26,636 円の募金が寄せられました。また、「高齢者疑似体験セット」の体験、赤十字社の親子向け「救護服」の試着体験や、鹿児島相互信用金庫駐車場で献血車による献血が実施されました。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 !!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



令和元年度 学生ボランティア体験



肝付町ボランティアセンターでは、青少年が福祉施設などでの体験を通じ、高齢者や障がい者への理解と思いやりの心を育み、ボランティアなど福祉活動の意欲を醸成することを目的とし学生ボランティア体験を生徒の長期休暇に合わせて開催しています。今年は、生徒の自主性と地域団体との交流をテーマに、「施設ボランティア体験」「ボランティア活動団体体験」の2つのコースを実施しました。

事前研修



午前は毎月活動している『パラスポキもつき』のみなさんと障がい者スポーツを体験しました。



午後の福祉講座で「福祉」の意味について「誰もが幸せを追求できるような社会にしていこう」ということを学びました。

施設ボランティア体験

「花神荘デイサービスセンター」と「国見保育園」でボランティア活動を体験しました。

花神荘デイサービスセンターでは、レクリエーションの時間にダンスを披露し、ゲートボールや体操をしました。



国見保育園では、練習してきたピアノで園児たちの歌や体操の伴奏をしました。



ボランティア体験を終えて（参加者の声）

- 「福祉施設にはたくさんの種類があることを学べた」（事前研修）
- 「保育者、子どもたちとの関わりの中でたくさん学べた」（国見保育園）
- 「真似をして一緒に踊ってくれる利用者の方がいて嬉しかった」（花神荘デイサービスセンター）
- 「実際に大会などで活躍されている方に教わることができて良かった」（パラスポキもつき）
- 「ボランティアに参加したことは自分の人生にとって良い経験になった」（事後研修）

「災害義援金」募集へのご協力について

令和元年は、全国で豪雨や台風による災害が発生しました。日本赤十字社鹿児島県支部及び肝付町分区では次のとおり義援金を受け付けております。お寄せいただいた義援金は、各被災県が設置した配分委員会へ全額送金され、被災者へ配分されます。被災地の日も早い復興を願い、皆様方の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年8月豪雨災害義援金

令和元年8月28日からの秋雨前線に伴う集中豪雨により、佐賀県内において発生した広域的な水害への義援金です。

●募集期間
令和2年8月31日まで



令和元年台風第15号千葉県義援金

令和元年9月5日に発生した台風第15号により、甚大な被害に遭われた千葉県の被災者への義援金です。

●募集期間
令和2年3月31日まで



令和元年台風第19号災害義援金

令和元年10月6日に発生した台風19号により、甚大な被害に遭われた被災者への義援金です。

●募集期間
令和2年3月31日まで



義援金 取扱口座	鹿児島銀行	支店名	鹿児島銀行 鴨池支店
		口座番号	普通預金 664155
		口座名	日本赤十字社 鹿児島県支部長
		※振込通知書に「令和元年8月豪雨災害義援金」等災害名を明記してください。 受領証を希望される方は、併せて「受領証・要」と明記してください。	

○義援金取扱口座に鹿児島銀行の支店に備え付けの専用振込用紙でお振込みください。

※他の銀行等から振込まれた場合は、振込手数料がかかります。

○持参される方は、肝付町社会福祉協議会 本所（肝付町福祉会館内）及び 内之浦事業所（役場内之浦総合支所2階）でも受け付けています。

肝付町分区 68-8188

養護老人ホーム国見園移管に伴うスタッフ募集

*支援員

※未経験者歓迎

【仕事内容】入居されている方々が安心して生活が送れるよう生活全般を支援していただきます。

【勤務時間】シフト制

- ① 7:00～16:00
- ② 8:30～17:15
- ③ 10:00～19:00
- ④ 17:30～翌8:30

【給与】時給：870円～1,305円

※賞与有 内部登用制度有

※各種手当・保険有

【募集人数】複数名

*調理員

【仕事内容】入居されている方々の食事を作る仕事です。

【勤務時間】シフト制

- ① 7:00～16:00
- ② 8:30～17:15
- ③ 10:00～19:00

【給与】時給：800円～1,000円

※賞与有 内部登用制度有

※各種手当・保険有

【募集人数】若干名

*看護師

【仕事内容】入居されている方々の健康管理をおこなう仕事です。

【勤務時間】

基本 8:30～17:15

※緊急対応する場合があります。

【給与】時給：1,000円

※賞与有 内部登用制度有

※各種手当・保険有

【募集人数】1名

地域に必要な施設で一緒に働きましょう！



社会福祉法人肝付町社会福祉協議会 デイサービスセンター国見園

〒893-1207 鹿児島県肝属郡肝付町新富 4585-2 ☎0994-65-1550（担当：中村、白坂）